

# BIMの日2018 シンポジウム

## 「BIMはどこを目指すべきか～他産業に学ぶ～」

主催 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会  
後援 空気調和・衛生工学会、建築保全センター、  
日本ファシリティマネジメント協会、buildingSMART Japan

当小委員会は設計・生産におけるICT活用の状況を調査するとともに、これを取巻く職能・職種、組織といった周辺環境について調査研究を進めてきた。午前の部では、BIMの標準化を推進するために実施された設計コンペ「Build Live Japan 2017」を通して得られたBIMプロジェクトの課題と可能性を議論する。午後の部では、WGの活動報告とともにBIMのキーワードである『連携』を題材としてディスカッションする。またICTにより変革を遂げている他産業を参考に、建築が向かうべき方向を議論する。

日時 2018年2月20日(火) 9:30～17:50  
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)  
定員 250名(申込み先着順)

### タイムテーブル

		司会：飯島憲一(設計・生産の情報化小委員会)
9:30～9:35	主旨説明	猪里孝司(大成建設)
第1部 Build Live Japanの目指すべき先には		
9:35～12:00	Build Live Japan 2017の概要 参加チームプレゼンテーション パネルディスカッション	山極邦之(buildingSMART Japan) Build Live Japan 2017参加チーム Build Live Japan 審査員他
第2部 設計・生産のBIM円卓会議		
13:00～15:00	パネルディスカッション「連携が変革を導くか」 つなぐBIM、連携/関係、IPD/プロセス、精度、設計、建築生産など小委員会でのテーマを多面的に議論する。 コーディネーター：猪里孝司(大成建設) パネリスト：安井謙介(日建設計)、大越潤(大成建設)、上嶋泰史(U's Factory) 平島ゆきえ(ARUP)、森下有(東京大学)	
15:00～15:15	休憩	
第3部 BIMはどこを目指すべきか～他産業に学ぶ～		
14:45～17:45	パネルディスカッション「他産業に学ぶ情報化の将来」 造船・自動車・医療等の各関連分野のパネリストに登壇いただき、各産業が情報化によってどのような変化があったのか。ものづくりの将来は?そして、建築がどうかわかっていくか、どう変わっていくべきかを議論する。 コーディネーター：倉田成人(筑波技術大学) パネリスト：横山喜克(キャノンメディカルシステムズ)、柳孝裕(OTSL) 浜田顕弘(三菱重工)、能勢浩三(竹中工務店)	
17:45～17:50	まとめ	種田元晴(種田建築研究所)

#### 参加費(資料代含む)：

日本建築学会会員 2,500円、後援団体会員 3,000円、会員外 3,500円、学生 2,000円(当日会場でお支払いください)

#### 申込方法：

WEB事前申込み 日本建築学会 催し物・公募一覧 ▶ <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=613258>

問合せ先：日本建築学会事務局 事業グループ 伏見 Tel.03-3456-2057

8  
BIM DAY 2018